

訪問時提供書類

事業と子育てサポート案内

ママと赤ちゃんのふれあい会

妊娠中から出産後も悩みが多い母乳育児を中心に、講義や個別相談を行なっている教室です。

日 時 月 日

受付時間 午後 1時～1時30分

内容：「妊娠～産後の乳房管理」(初産婦による講義)
 ・「ふれあって赤ちゃんは元気」(産後期による講義)
 ・みんなの座談会
 ・個別相談 母乳 乳房管理 助産師 など
 ・絵本の読み聞かせ体験 など

母乳について困っていたり、どのように赤ちゃんと過ごしていいかわからないなどありましたら、どうぞご参加ください。

詳しくは市民健康センター ☎475-8011

おこやか子育て相談会

管理栄養士、保健師、助産師による個別の相談会を滑川市では実施しています。また、他のお母さんたちと交流したり、身長・体重を測定したりするなどの機会としても利用できます。

詳しくは市民健康センター ☎475-8011

開催日：奇数月第1水曜日(5月と1月は第2水曜日)
 時間 午前9時30分～11時30分

子育て支援センター

「日中、いつも子どもとふたりきり、どこか楽しく遊べるところはないかしら」とお考えのおかあさん、おうちの方、どなたでもお子さんといっしょに「子育て支援センター」で遊んでみませんか。子育ての相談もさがるにできます。

利用時間／午前9時～午後3時30分(休館日 土・日曜日、祝祭日、お盆、年末年始)
 利用料／無料
 (赤ちゃんを対象にした「赤ちゃんサロン」(第1・3火曜日午前)もあります。)

詳しくは 子育て支援センター ☎476-6565

33

訪問時提供書類

母子保健推進員の活動普及手づくり会誌



その他 パンフレット

無償配布

- ・赤ちゃんを育てる遊び 大全集 Benesse
- ・母乳育児で困ったら

購入

- ・乳児の健康づくり ハンドブック

35

母子保健推進員の訪問活動体験から6 か月後の研修会 (平成19年9月)

4月からの赤ちゃん訪問活動を通じて

- ・気づいた事
- ・改善してほしい事
- ・疑問や質問など

Q&A でまとめて見ました。

基本的に、指導をしようと思わず
健康センターへ繋いでもらう。

36

赤ちゃん訪問のQ&A

Q1 おっぱいをちゃんと飲んでいるか心配
体重が増えているのかどうか心配

A1;「ママと赤ちゃんのふれ愛会」は助産師の
母乳相談があります。

「すこやか相談会」や健康センターではいつ
でも身体計測ができます。

37

赤ちゃん訪問のQ&A

Q2 予防接種はどうやって、どこで受けるのか？

A2;まず、BCGを指定医療機関で(予防接種手帳記
載)3~6か月未満で受けてください。

なるべく、4か月健診前に受けられるように勧めて
あげてください。

それ以外の予防接種は4か月健診で説明があるこ
とをお伝えください。(ママの様子ですぐに連絡が
必要であれば、訪問用紙や電話でお知らせくださ
い。)

38

赤ちゃん訪問のQ&A

Q3 引越して、相談相手がいない。
ストレスがたまってつらいときがある。

A3;子育て支援センターや健康センターの相談会等の利用を勧めてあげてください。

(健康センターからも連絡します)

赤ちゃん訪問のQ&A

Q4 4月の研修時にうつ病予防や虐待児の早期発見といわれたが、そのようなケースにであわない。自分の見方がへたなのか？

A4 ;訪問対象の中でも、リスクの少ないケースを選択して、皆さんにお願いしているので、心配はいりません。

訪問の実績から

41

訪問実績（平成19年度・20年度経過）

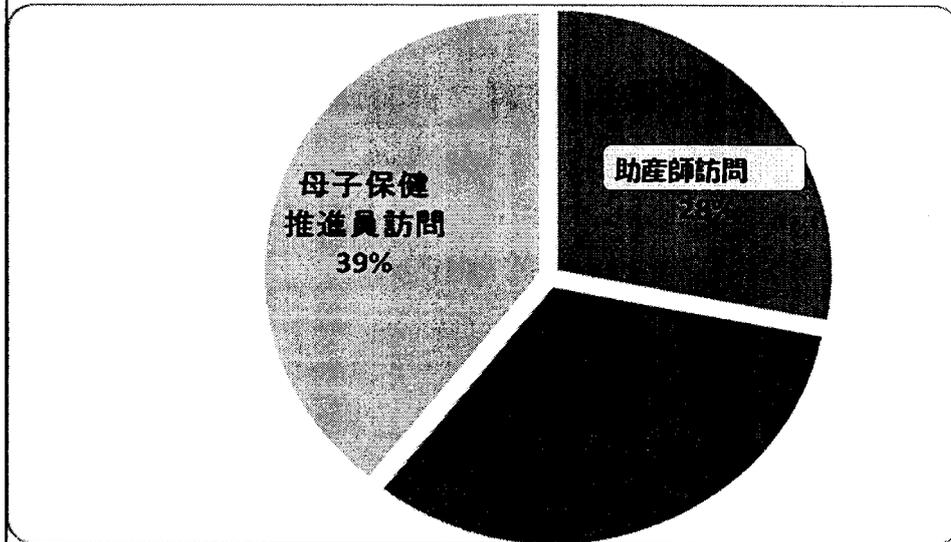
19年度 対象 (4月～3月生まれ)	新生児訪問	保健師訪問	母子保健 推進員訪問	低体重 中部厚生 センター	連絡とれず		事後継続	
257	実数	実数	実数	実数	実数	未実施	4か月での 要確認者	継続訪問
	87	63	87	17	254	3	9	3

20年度 対象 (4月～9月生まれ)	新生児訪問	保健師訪問	母子保健 推進員訪問	低体重 中部厚生 センター	連絡とれず	
133	実数	実数	実数	実数	実数	未実施
	37	43	52		132	1

4か月健診
の終えた
9月生まれ
までの経過

42

訪問担当割合(平成20年度経過)



19年度実績から

事後継続	
4か月での要確認者	継続訪問
9	3

継続訪問

- I 育児不安
- II 産後うつ病
- III 未婚で家庭環境複雑な母子サポート

44

事後 ～ 他関係機関との連携

- ①ケースⅡ ・・・病院助産師さんからの情報
既往として、統合失調症あり。パニック症状
中部厚生センターへの相談
4か月健診時・ポリオ予防接種時対応の配慮

- ②ケースⅢ
 - ・福祉課との調整・連携
 - ・富山市へ転出・・・富山市の担当者への連絡

45

4か月健康診査での 児とママの健康状況把握

- 1、訪問での結果をチェックし、見逃しのないよう
問診など配慮を要するケースは目印クリップ(シグナル)を
管理票に付けスタッフ全員共通認識とし、指導は内容によ
り、それぞれ専門職の担当とする。
 - ・家庭問題・・・年配保健師
 - ・母乳・・・助産師
 - ・離乳食・・・管理栄養士
 - ・特にない・・・OB保健師

- 2、健康診査後のカンファレンスで事後方法を決めていく。

こんにちは赤ちゃん訪問事業を
開始して変わった事

- 1 「4か月健康診査・ママと赤ちゃんのふれ愛会」時に再会できたうれしさ
 児の成長を見守るスタッフがいる心強さ
- 2 「ママと赤ちゃんのふれ愛相談会」の参加人数が増えた
 ～18年度 10人／回 19年度～15人／回
- 3 健康センター毎日来所の利用者増
- 4 社会資源の活用 子育て支援センターの利用増

こんにちは赤ちゃん訪問事業を
開始して変わった事

点から線へ そして線から面へと繋げていった

今後の課題

全世帯訪問に向けて

- 1、低体重児などへの対応
 - ・厚生センター訪問ケースの訪問時期の調整
 - ・長期入院治療児の対応
退院後のかかわりと長期入院児のママへ支援接点時期
- 2、不在ケースの対応
 - ・訪問時期を2か月頃とする。特に母子保健推進員対象であるケースは、早めの返答を健康センターへ
- 3、拒否ケースの対応
- 4、ケースに応じた訪問時期

全世帯訪問を目指して (低体重児への対応)

- 母子保健法 第18条 第19条
県の厚生センター保健師が訪問担当となっている。

市へ情報をもらえないか・・・訪問する旨は通知するが、訪問内容は個人情報保護法の観点で断られる。

対応；

ママとの調整をとり、改めて赤ちゃん訪問実施⁵⁰

滑川市のこんにちは赤ちゃん訪問の概要

- 1、訪問担当者は保健師・助産師・母子保健推進員
ケースに合わせた担当役割
- 2、役所内の連携で情報把握
健康センターを核とし、福祉課、市民課
- 3、母子保健推進員のエンパワーメントを引き出す
・研修会の実施 情報交換
- 4、訪問表は母子の状態が簡易に把握できる様式
- 5、保健事業として、事後管理ができる。

こんにちは赤ちゃん訪問以外の

母子保健推進員さんの保健事業活動紹介

今までの母子保健推進員の訪問活動

- 1、妊婦教室参加への訪問
- 2、第1子 4か月前の訪問

訪問の実績があり、地区では顔見知りのボランティアさん

53

母子保健推進員活動

すこやか子育て相談会での読み聞かせボランティア



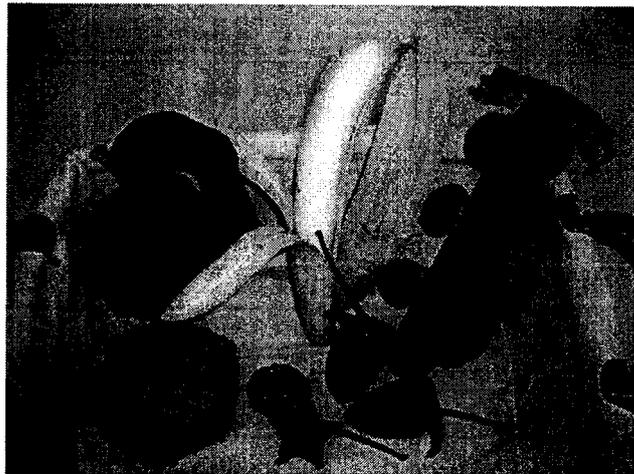
母子保健推進員

4か月健康診査での読み聞かせボランティア



55

母子保健推進員さん 手づくりおもちゃ①



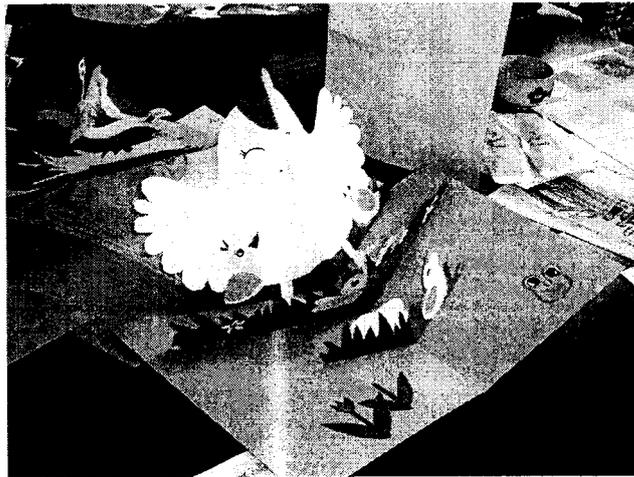
56

母子保健推進員さん 手づくりおもちゃ②



57

母子保健推進員さん 手づくりおもちゃ
③ 飛び出し絵本



58

滑川市の保健事業展開のキーポイント

1. **【ひと】に注目！**
【ひと】にこだわる！
【ひと】に協力・理解を得る！
2. **そのひとを核として事業展開を構築していく！**
3. **地域（育児）サポート力の強化**

ボランティアの育成と養成

ボランティア組織と保健師のかかわり

その1

1. 組織の位置づけ

- ① 公に認められた組織としての位置付けをする。

・委嘱状は市長名で行なう
市役所や町内会、地区で活動しやすくなる。

② 健康センターを軸とする他の健康づくりボランティアとの交流

・ヘルスボランティア 513人
・食生活改善推進員 133人
など地区単位や他市町村との交流 延計 661人

③ ボランティア会員の調整・養成と育成

- ・期限のない会員登録・自主的な活動
- ・会員の高齢化 新規養成
- ・会員のトラブル調整役・考えかたのアドバイス
(仕事や家の都合で活動できない人をせめない等)
何かを行なう事ができなくても、参加する事もボランティア
- ・役職の固執と回避の調整

④ 保健師は黒子に徹する

- ・活動のバックには保健師がいて、市役所があると思う心強さ

ボランティア組織と保健師のかかわり

その2

2、個人や健康センターにおける組織の役割

人生を豊かにするための生き方選択肢のひとつとしてPR

- ① ボランティア活動とは他人のための施しではなく
自分の中の「うれしさ」 エンパワーを感じ取れるように支援する。
- ② 今までの生活史でかかわる事の無かった人や場所とのふれあいを通じ
自分の隠れた能力に出会うときめき・・・自分新発見、特別な人だけが、
できるのではない。
- ③ 個人能力の再発見の機会とする。

保健事業の広告塔

- ・健康センター事業に係わる事で、保健事業のよき理解者となる。
- 介助ボランティアでスタッフ側に立ち、保健事業の理解者・協力者である

